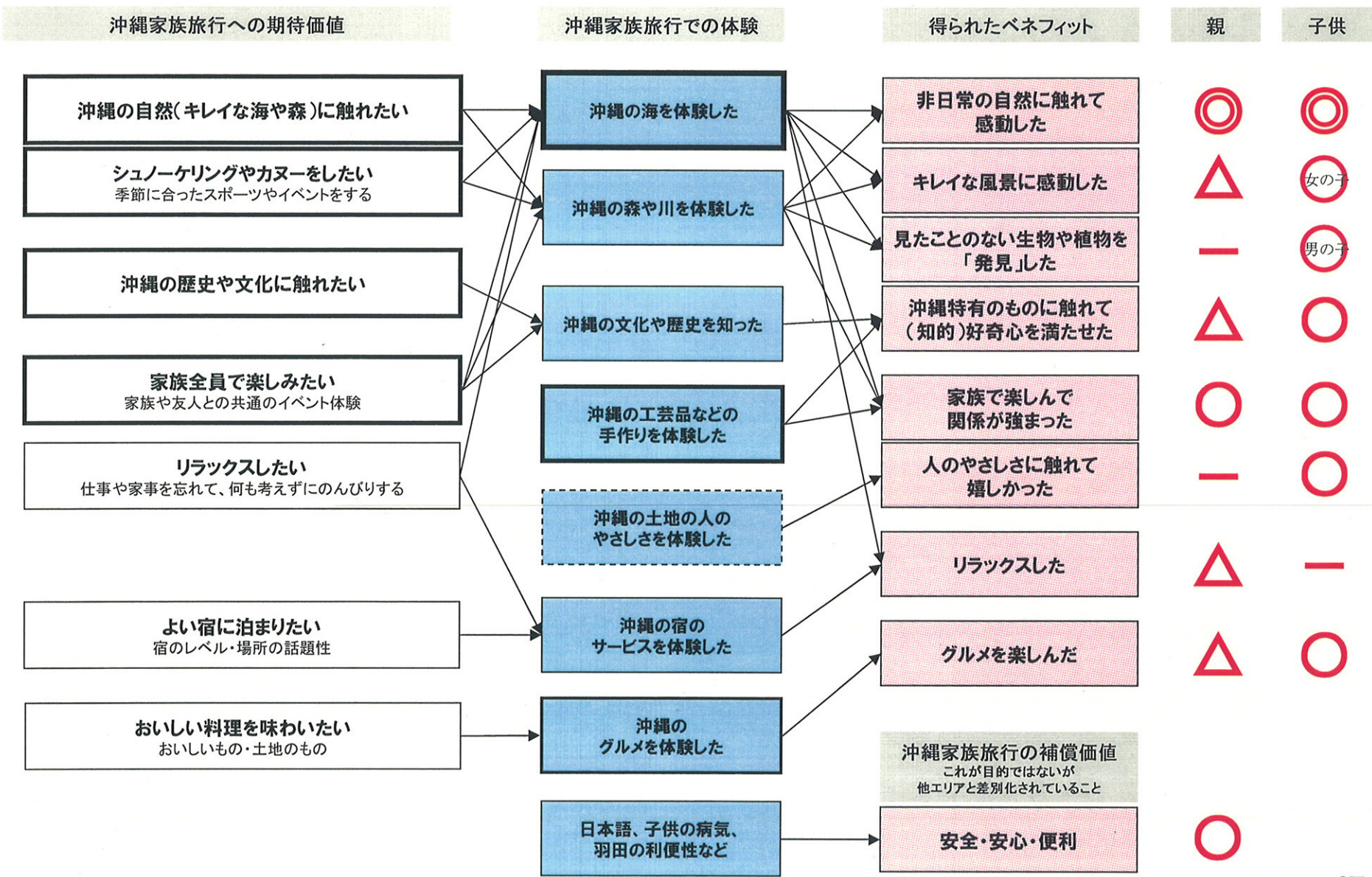


まとめ



沖縄ファミリー旅行への
期待・満足構造の整理

沖縄の期待－満足構造



得られたベネフィット	親	子供	新コンセプト案	
非日常の自然に触れて感動した	◎	◎	青い海や深い森の中で、自然体験ができる沖縄	
キレイな風景に感動した	△	◎ 女の子	潜在ニーズがあるのでは？ (現状は女の子が感じている)	← 参加者全員が、写真を見ながら「すごい」「きれい！」など感想も活発。帰ってからのロコミ効果も期待できる。
見たことのない生物や植物を「発見」した	—	◎ 男の子	潜在ニーズがあるのでは？ (現状は男の子が感じている)	← お膳立てした場面で出会えるというよりも、遊びを通して「自ら発見する」という行為に楽しさを感じている。
沖縄特有のものに触れて(知的)好奇心を満たせた	△	◎	遊びや体験を通じて、自然にエコロジー意識を高められる沖縄	← 他のコンセプトを新規でたてられれば、一緒にしてもよいのでは？
			遊びながら自然やものづくりなどの知識を幅広く吸収でき、自由研究にも役立つ沖縄	
家族で楽しんで関係が強まった	○	◎	もっと強調しても良いのでは？ (他のエリアに比べると効果高そう)	
人のやさしさに触れて嬉しかった	—	◎	潜在ニーズがあるのでは？ (現状は子供が感じている)	
リラックスした	△	—	ここに潜在ニーズがあるのでは？ (親はもっとリラックスしたいと思っている)	← クラブメッド宿泊者や友人家族と一緒にいった親は(子供をみてくれるので)感じている
グルメを楽しんだ	△	◎	人気の観光スポットを巡る沖縄	
沖縄家族旅行の補償価値 これが目的ではないが他エリアと差別化されていること				
安全・安心・便利	○			